

市長への面談

出席者

柴崎市長 大久保教育長 伊藤環境課部長 末永環境課次長 細野秘書広報課課長

WAN 文書で質問

- ① 小中学校の学校給食放射能検査は、平成30年度を最後に中止になったのでしょうか。
- ② 中止をしたのであれば、その理由、中止に至った経緯、どのような協議がなされたか

和光市文書で回答（概要）

- ① 平成23年度から学校給食の放射性物質の測定をしたが、検査開始以来、検査結果が不検出となっているので、中止を決定した。
- ② 学校給食を含めた食品全般について、厚生労働省の定める基準値を超える食材は出荷制限されており、安全性が確認されている。検査結果が検出下限値を下回っている。以上の理由からこれ以上継続する必要はなくなったと判断し、平成30年度をもって検査実施を一旦終了することとした。

今後、放射性物質に関する状況が変化した場合には、国や県の動向を踏まえ、検討する。
食材の産地については、各学校のホームページに掲載。問い合わせにも対応する

WAN・測定方法が水分を含めた一食分を測るので、結果が出にくい。食材を単体として測定をしてほしい。

- ・事故以前は1ベクレルが基準だったが、事故後100ベクレルになったので、検査結果が不検出になる。

市長 子どもがいるのでおっしゃることはよくわかる。基準を緩めればいいというものではない。説明や連絡をした方がよかった。状況が変われば、その時々で対応をする。

教育長 厚労省の検査を参考にして、学校給食協会が食材をホームページに記載している。値が高そうな地域はなるべく避けるようにしているし、野生のキノコなどは入っていない。情報を見ながら食材を決めている。

食材の産地のプリントの印刷は外注が必要なので、今後はホームページを見てもらいたい。

WAN 給食の放射性物質に対する考え・取り組み方などをまとめて表示してもらいたい。

WAN 環境課から放射線測定の縮小に関して WAN に相談に来ていただいた。

環境課 まだ、正式に決まっていないが、年に2回、12か所測定の方であり、決まらなかった場合はもとに戻す。